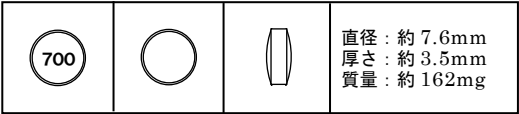

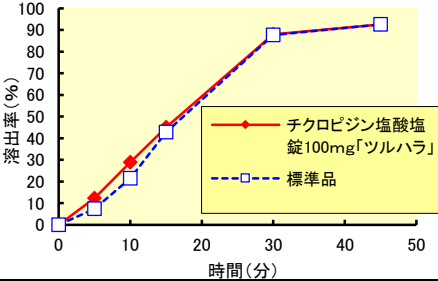


# 製品別比較表

2020年6月改訂

商品名	チクロピジン塩酸塩錠 100mg「ツルハラ」	標準品
会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	5.9円/錠	13.6円/錠
薬効分類名	その他の血液・体液用薬/339	
組成	1錠中チクロピジン塩酸塩 100mg 含有	
性状	白色～淡黄白色のフィルムコート錠、 識別記号は700 	白色～淡黄白色のフィルムコーティング錠 
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、カルメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、タルク、カルナウバロウ	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、カルメロース、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、硬化油、シヨ糖脂肪酸エステル、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 6000、タルク、ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素
効能・効果	1. 血管手術および血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療ならびに血流障害の改善 2. 慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの阻血性諸症状の改善 3. 虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（TIA）、脳梗塞）に伴う血栓・塞栓の治療 4. クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善	
用法・用量	1. 血管手術および血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療ならびに血流障害の改善には、チクロピジン塩酸塩として、通常成人1日200～300mg（2～3錠）を2～3回に分けて食後に経口投与する。 2. 慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの阻血性諸症状の改善には、チクロピジン塩酸塩として、通常成人1日300～600mg（3～6錠）を2～3回に分けて食後に経口投与する。 3. 虚血性脳血管障害に伴う血栓・塞栓の治療には、チクロピジン塩酸塩として、通常成人1日200～300mg（2～3錠）を2～3回に分けて食後に経口投与する。なお、1日200mg（2錠）の場合には1回に経口投与することもできる。 4. クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善には、チクロピジン塩酸塩として、通常成人1日300mg（3錠）を3回に分けて食後に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。	
溶出挙動の同等性(局外規による溶出試験)	試験液:水 規定時間:35分 溶出率:85%以上  両剤の溶出挙動は同等であった。	
生物学的同等性(血中濃度の推移)	健康成人男子12名に各1錠を経口投与した。両剤の血中濃度の推移は同等であった。	